

子どもの考える 1.17～生きるための防災食～

「震災ってなんだろう?」「避難所ってどんなところ?」

「食べ物って持っていくの?」震災を経験していない子ども達がわからないこと、知りたいことを出しました。



考える=思考力

おうちの人と一緒に、冷蔵庫や戸棚にある食品の賞味期限調べをしました。保育所に結果を持ち寄って、防災食品に適しているかどうかその理由も考えました。

パン、牛乳→短い

缶詰、レトルト食品→長い

水、おにぎり→防災用のものもある



話し合い=協同性

リュックサックに入れるには?

ポテトチップス派

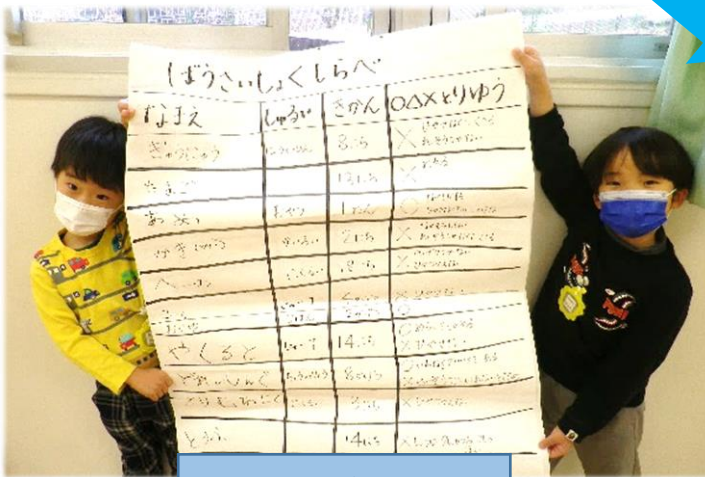
→軽いからたくさん持っていける

賞味期限が長い

チョコレート派

→元気が出る

みんなで分け合える



生きる=健康な心と体

ひとりひとりが考える食料をリュックサックに詰めて(貼って)いきました。

中身はそれぞれ違います。

「生きる」ことを考えて取り組みました。



つなぐ=生命尊重, SDGs

思いや学びを小さな友達につないでいくことが自分たちにできることだと気づきました。学んだことを次の5歳児につなぎ、また、新たな学びへと向かって行きます。



芦屋市立岩園保育所

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS